

2021年度決算概要

株式会社東邦銀行

1. 経営成績（損益の状況）【連結】

- (1) 経常収益は、コンサルティング営業強化による役務取引等収益の増加するとともに、有価証券利息配当金の増加などにより前年度比19億51百万円増加し602億27百万円となりました。
- (2) 経常費用は、与信関係費用の減少などから、前年度比123億53百万円減少し500億9百万円となりました。
- (3) 経常利益は、前年度比143億5百万円増加の102億17百万円となりました。
- (4) 親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加に伴い前年度比114億17百万円増加し67億53百万円となりました。

【連結】

(単位：百万円)

	2021年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	58,275	60,227	+1,951
経常利益 (△は経常損失)	△ 4,087	10,217	+14,305
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は親会社株主に帰属する当期純損失)	△ 4,664	6,753	+11,417

【銀行単体】

(単位：百万円)

	2021年3月期 (A)	2022年3月期 (B)	増減 (B - A)
経常収益	49,969	51,598	+1,629
経常利益 (△は経常損失)	△ 5,602	8,950	+14,553
当期純利益 (△は当期純損失)	△ 5,531	6,181	+11,712

2. 主要勘定の業績【銀行単体】（末残ベース）

- (1) 総預金（譲渡性預金含む）
個人預金・法人預金が引続き順調に推移し、前年度末比839億円増加し6兆2,235億円となりました。
- (2) 貸出金（含む私募債）
地域のお客さまの住宅取得等の幅広いニーズにお応えしたことにより個人ローンが増加しましたが、公共貸出が前年度末比719億円減少したことを主な要因として、前年度末比1,208億円減少し3兆7,436億円となりました。
- (3) 有価証券
金融市場の変動に耐えうる安定的な収益確保のため、有価証券のポートフォリオ再構築に取り組んだ結果、期末残高は前年度末比285億円増加し5,239億円となりました。

【主要勘定の業績】

(単位：億円)

	2021/3末	2021/9末	2022/3末	2021/3末増減(率)	2021/9末増減(率)
総預金 (譲渡性預金含む)	61,395	60,052	62,235	+839 (+1.4)	+2,183 (+3.6)
うち個人預金	34,806	35,479	35,995	+1,188	+515
うち法人預金	14,113	14,277	14,142	+28	△ 134
うち公金預金等	12,475	10,295	12,098	△ 377	+1,802
貸出金 (含む私募債)	38,645	38,029	37,436	△ 1,208 (△3.1)	△ 592 (△1.6)
私募債	750	694	674	△ 76	△ 20
個人向けローン	8,206	8,293	8,341	+134	+47
うち住宅ローン	7,635	7,747	7,807	+171	+59
有価証券	4,953	4,388	5,239	+285 (+5.8)	+850 (+19.4)

3. 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は単体で9.13%、連結で9.66%と引続き十分な水準を維持しております。

【銀行単体】

（単位：億円）

	2021/3末	2021/9末	2022/3末	2021/3末増減(率)	2021/9末増減(率)
自己資本比率	8.85%	9.13%	9.13%	+0.28%	+0.0%
自己資本	1,759	1,781	1,784	+24	+3
リスクアセット等	19,870	19,505	19,525	△ 345	+20

【連結】

（単位：億円）

	2021/3末	2021/9末	2022/3末	2021/3末増減(率)	2021/9末増減(率)
自己資本比率	9.28%	9.59%	9.66%	+0.37%	+0.06%
自己資本	1,851	1,878	1,892	+40	+14
リスクアセット等	19,942	19,570	19,586	△ 355	+16

4. 金融再生法開示債権（正常債権除く）【銀行単体】

総与信に対する比率は1.30%と引続き極めて低い水準になっております。

【金融再生法開示債権（正常債権除く）】

（単位：億円）

	2021/3末	2021/9末	2022/3末	2021/3末増減(率)	2021/9末増減(率)
金融再生法開示債権	445	490	490	+45	+0
破産更生債権等	150	182	175	+25	△ 7
危険債権	261	249	246	△ 14	△ 2
要管理債権	33	58	68	+35	+10
総与信比	1.14%	1.28%	1.30%	+0.15%	+0.02%

5. 2022年度通期業績予想

2022年度の連結業績予想につきましては、経常収益593億円、経常利益85億円、親会社株主に帰属する当期純利益55億円を見込んでおります。

銀行単体の業績見通しにつきましては経常収益510億円、経常利益77億円、当期純利益53億円を見込んでおります。

【業績予想（連結）】

（単位：百万円）

	2021年度 実績（A）	2022年度 業績予想（B）	増減 （B－A）
経常収益	60,227	59,300	△ 927
経常利益	10,217	8,500	△ 1,717
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,753	5,500	△ 1,253

【業績予想（銀行単体）】

（単位：百万円）

	2021年度 実績（A）	2022年度 業績予想（B）	増減 （B－A）
経常収益	49,969	51,000	△ 1,030
経常利益	8,950	7,700	△ 1,250
当期純利益	6,181	5,300	△ 881

以上